

自主機能評価指標(2019年12月末現在)

I. 施設の状況	
1. 施設の設備	
①施設の種別	クリニック
②病床数	0床
③ペーシエントステーション台数(透析ベッド数)	55床
2. 施設の機能	
①準夜透析の可否(21時以降終了)	可
②透析室の終了時間(通常時の最終透析回収時間)	22時30分
*長時間透析の可否(6時間以上)	可
③オーバーナイト透析の可否 (日をまたがる透析で6時間透析以上)	可
④在宅血液透析の可否	可
⑤オンラインHDFの可否	可
*CAPD の可否	可
⑥シャント手術の可否	不可 ⇒新宿外科CL,大久保HP,下北沢HP等
⑦PTA の可否	可
⑧障害者自立支援医療機関かどうか	自立支援医療機関である
⑨処方区分(院内処方・院外処方)	院外処方
⑩腎代替療法実績加算の有無	ある
⑪下肢抹消動脈疾患指導管理加算の有無	ある
3. 医療スタッフの状況	
①透析に関わる医師数	常勤:1名 非常勤:12名
②透析医学会会員の医師数	3名
③透析専門医の人数	3名
④透析技術認定士の人数	6名
⑤透析に関わる看護師数	13名
⑥腎不全看護認定看護師の人数	0名
⑦慢性腎臓病療法指導看護師の人数	1名
⑧透析に関わる臨床工学技士数	11名
⑨血液浄化専門臨床工学技士の人数	0名
⑩認定血液浄化臨床工学技士の人数	0名
⑪透析に関わるメディカルソーシャルワーカーの人数	0名
⑫管理栄養士の有無	いる(非常勤)
4. 組織体制の状況	
①医療安全委員会の有無(災害、感染対策を含む)	ある
②事故報告体制の有無	ある
II. 患者の状況	
①外来HD患者数	146名
②外来PD患者数	1名
③外来透析患者に対する後期高齢者患者の比率	30.1%
III. 治療指標(外来HD患者対象)	
①腎性貧血管理(Hb 10.0 g/dL以上の比率)	89.0% (平均: 11.2g/dL)
*ESA使用量(エポエチン ベータ換算9000U/週以下の比率)	96.6% (平均: 2266U/週)
*ERI9.44未満の比率	92.5% (平均: 3.8)
*フェリチン管理(フェリチン300ng/mL以下の比率)	98.6% (平均: 73.1ng/mL)
②P管理(P 6.0mg/dL以下の比率)	89.7% (平均: 4.57mg/dL)
*補正Ca管理(cCa10.0mg/dL以下の比率)	100.0% (平均: 8.81mg/dL)
③PTH 管理(iPTH 240(WholePTH 150)pg/dL以下の比率)	76.0%
④透析時間(4時間以上の患者の比率)	100.0%
⑤透析時間(5時間以上の患者の比率)	60.3%
⑥透析時間(6時間以上の患者の比率)	12.3%
⑦透析量(sp Kt/V 1.2 以上の比率)	94.5% (平均: 1.86)
*β 2MG管理(β 2MG 30mg/L 以下の比率)	78.8% (平均: 26.0mg/L)